

2008 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">障害児心理学Ⅱ</p>	<p>対象学科・学年 教育教福3回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">小田 浩伸</p>
<p>授業テーマ</p> <p>発達障害（LD・ADHD・高機能自閉症・アスペルガー症候群等）の基礎理解と、一人一人の実態と特性に応じたきめ細かな指導の実際について学ぶ。</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>発達障害（LD・ADHD・高機能自閉症等）の子ども一人一人の教育的ニーズに応じて適切な指導及び必要な支援を行うためには、特別支援教育制度の基本的な知識と、さまざまな指導法の技能習得が必要である。支援者としての心構えと子どもを冷静に見る視点と観察力（気づきの感性）の高め方、特性のとらえ方、具体的な指導の方法、個別の指導計画の作成手順等についての理解を深めることを目標とする。</p>		
<p>評価方法</p> <p>出席状況、授業のキーワード&感想の提出（毎回）、課題レポート等により総合的に評価する。</p>		
<p>テキスト</p> <p>随時プリントを配布する。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書</p> <p>必要に応じて適宜紹介する。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 特別支援教育の推進に向けた支援体制（校内支援体制・特別支援教育コーディネーター・巡回相談等） 2. LDの理解と支援について 3. ADHDの理解と支援について 4. 高機能自閉症の理解と支援について 5. アスペルガー症候群の理解と支援について 6. 学習面や行動面における気づきと実態把握から支援の展開に向けて（気づきから支援がはじまるまでの手順） 7. 通常の学級における個別の指導計画の作成と評価（個別性と集団性・チームアプローチの重要性） 8. 学習面・行動面での著しい困難を示す子どもへの対応（事例を通して） 9. LD・ADHD・高機能自閉症等の特性に応じた指導法の実際（1）教科指導における支援の実際 10. LD・ADHD・高機能自閉症等の特性に応じた指導法の実際（2）ソーシャルスキル指導の実際 11. 「実践アクセス講義」（ゲスト・ティーチャー）小学校・特別支援学校の特別支援教育コーディネーターから学ぶ 12. 通常の学級における指導・支援の実際 13. 特別支援教育コーディネーターの役割と関係機関と連携した校内支援体制の確立 14. 発達障害のある子どもへの指導の実際（幼稚園・小中学校・高等学校の指導事例を通して） 15. まとめ 		